



SASEBO WEEKLY

会 長:石井 正剛 幹 事:増本 一也
事務所:佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場:佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 25 年 10 月 23 日

第 3,094 回例会

NO 16

《本 日》会員数 71 名(出席免除会員 23 名)・出席 43 名・免除者欠席 14 名・欠席 14 名・ビジター 0 名・出席率 60.56%

《前々回》会員数 71 名(出席免除会員 23 名)・出席 51 名・免除者欠席 10 名・欠席 10 名・メークアップ 10 名・修正出席率 100.00%

会 長 挨拶

会長 石井 正剛さん

10月20日(日)、陸上自衛隊相浦駐屯地創立58周年記念式典に出席してまいりました。目の前をヘリや、戦車が通り、その迫力とともに、自衛隊パワーを間近で見参りました。



瀬戸越町の暴力団事務所をめぐる訴訟で、原告である住民側の勝訴、まさしく住民パワーの勝利でした。

本日は、1910~30年代、シカゴでの職業奉仕にちなむロータリーパワーのお話を致します。

マフィアの代名詞のように言われる、アル・カポネは1899年、ブルックリンで生まれております。ご存知の通りロータリーは1905年に誕生します。当時のシカゴは著しい経済発展の裏で、不正や犯罪、悪徳商法がはびこり、まさに無法地帯であり、マフィアがはびこっていました。

1910年頃、ロータリーでは、シェルドンやガイガンディー等によって、ロータリーの一つの哲学、職業奉仕の理念が出来上がり、その理念をロータリアンの企業が実践することで、業界全体の倫理規定を高めようとした時代です。

社会に有益な職業を前提として、職業奉仕を実践に移そうとしたロータリーと、世

に有害な職業を前提とするマフィアが対立しました。はたして、ギャングや暴力団は職業分類になるのでしょうか。

シカゴクラブの元会長をシカゴ市防犯委員長に任命し、マフィア制圧に乗り出し、マフィアとグルであった警察を徹底的に告発したり、1924年には、会員が証人として出廷し、マフィアの大物の逮捕につなげるなど、犯罪防止に大きな貢献をしたという記録が残っているようです。

マフィアに牛耳られていた映画産業を厳しく取り締まったり、マフィアの強い影響力を受けていたレストラン業界の道德律を作って改革なども行っています。

不合理な商取引がまかり通っていた時代に敢然と立ち向かって、立法化にまでこぎつけたのは、ロータリーの功績であると記されております。

現在ロータリーは、政治とは一線を画しておりますが、当時のシカゴクラブが極めて政治がらみの活動をしていたことは、否定できない事実であったようです。

ご報告を致します。川富会員より、会社の都合により10月30日をもっての退会届が提出され、持ち回り理事会において承認いたしました。

例 会 記 録

○ロータリーソング「奉仕の理想」

幹事報告

幹事 増本 一也さん

1. 国際ロータリー日本事務局
クラブ・地区支援室
シドニー国際大会の公式ご案内
2014年6月1日～4日 オーストラリア シドニー
ホームページに掲載されています。
<http://www.riconvention.org/ja/2014/Pages/ridefault.aspx>
早期割引の第1回目締め切りは12月15日、
第2回目は3月31日となります。
2. 福岡RC 会長 麻生 誠さん
創立80周年記念誌送付のご案内がきてお
ります。
3. 第2740地区ガバナー 塩澤 恒雄さん
財団委員長 山田 晃さん
財団セミナーご出席のお礼が届いており
ます。
4. 第2740地区ガバナー事務所
①佐世保東南RC E-mail変更のお知らせ
info@saseboes-rc.jp
②2740地区ホームページが更新(10月21日)
されています。
5. 佐世保市心身障がい児(者)育成協議会
会長 土井 庸正 様
平成25年度育成協議会会員入会のお礼
23名 28,000円です。
6. 長崎県共同募金会佐世保市支会
支会長 朝長 則男 様
共同募金運動への協力について(お願い)
7. 社会福祉法人 長崎県障害者福祉事業団
障害者支援施設つくも苑
施設長 佃 晃 様
機関紙「展海」第142号が届いております。

委員会報告

■国際奉仕・姉妹クラブ委員会

委員長 中村 徳裕さん

台南RC創立60周年 参加者登
録状況報告及び更なる登録のお
願いについて



来る平成26年1月9日(木)・10日
(金)・11日(土)・12日(日)の日程(2泊
3日または3泊4日)で、姉妹クラブ台南RCの
60周年記念式典への訪問団を結成し、出来る
だけ多くのメンバーでお祝いし、更なる友好
を深めたいと計画しております。

進捗状況の報告をいたします。現在会員か
らの登録が16名、奥様の同伴が2名様で、合
計18名となっております。

佐世保RCの60周年を記念した3000回例会
の際には、総勢40名を超える台南クラブの皆
様の訪問を頂いております。その返礼の意味
もありますので、是非30名から40名のメン
バーでの訪問を目指しております。

繰り返しのお願いになりますが、皆様ご参
加について、是非ともご協力いただきたく、
日程の調整など、ご配慮をお願い申しあげ
ます。

■補助金委員会 委員長 幸良 秋夫さん
地区財団セミナーの結果報告



10月20日(日)、佐世保労働福祉
センターにおいて開催された、
「国際ロータリー第2740地区
2013-2014年度財団セミナー」
に、円田昭会長エレクトと共に参加してきま
した。

総勢約150名が参加し、まず、国際ロータ
リー第2700地区財団委員長 小川研次氏の
「今こそポリオ撲滅のとき—END PORIO
NOW—」と題する基調講演がありました。

小川氏は、ポリオ撲滅の取り組みを始めて
17年目になる自らの体験を交えながら、ロー
タリーのポリオ撲滅活動の歩みについて話さ
れました。そして、ポリオプラスは、国際ロ
ータリーの最優先プログラムであること、残
り3か国となったが、ソマリアやケニアなど

新たに発生した地域もあること、ポリオ撲滅の障害は貧困と紛争であり、ロータリーが目指しているのは公平と平和、ポリオ撲滅はその象徴であること等について、自らのインドでのワクチン接種活動を紹介しながら講演されました。また、質疑の中で、所属する小倉東RCでは、毎年開催されている行橋-別府間のウォークラリーの際、募金箱を設置し、60~70万円程度の寄付を集めていることを紹介し、いろいろな所でロータリーがポリオ撲滅に取り組んでいることを伝えていくことの重要性を強調されました。

その後、地区ロータリー財団委員長から、ロータリー財団の歴史・使命、2013-14年度の目標、年次基金の拠出状況及び地区補助金使用計画、2740地区の寄付目標「会員一人当たり100ドル」の達成に向けての協力、ロータリーカードの推進についてのお願がありました。

引き続き、資金推進委員会、ポリオプラス委員会、財団奨学・学友委員会、補助金委員会、資金管理委員会からそれぞれ報告と説明がありました。

■資金推進・財団・米山委員会

委員長 溝口 尚則さん

財団寄付について

Every Rotarian, Every Year
100\$を!

佐世保RCの財団に対する寄付を増やす為に、誠に申し訳ありませんが、上記のスローガンの様に寄付をつのることになりました。ご協力宜しくお願い申し上げます。



退会挨拶

川富 正弘さん

2000年6月に入会させていただき、また入会後は、格別のご厚情をたまわり、ありがとうございました。

今回、当院内の内情にて、例会への出席等が困難な状況になりました。



会員としての役割も充分にはたせないまま、退会することになり申し訳ありません。今後のみなさまのますますのご健康、御活躍をお祈りいたします。本当にありがとうございました。

慶 祝

親睦活動委員会 岡村 一郎さん

○結婚記念月のお祝い

- 井上 齊爾・三穂 さん ご夫妻 (1日)
- 坂元 崇・泰江 さん ご夫妻 (1日)
- 古賀 巖・良子 さん ご夫妻 (6日)
- 佐保 榮・三枝子さん ご夫妻 (10日)
- 田中丸善弥・美加 さん ご夫妻 (17日)
- 有蘭 良太・香津美さん ご夫妻 (21日)
- 佐々木秀也・美智子さん ご夫妻 (23日)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 米倉洋一郎さん

川富 正弘さん

長い間、お世話になりました。

石井 正剛会長、増本 一也幹事
納所 佳民副幹事、黒木 政純さん
米倉洋一郎さん、木村 公康さん
古賀 巖さん、有蘭 良太さん
大久保利博さん、佐藤 淳さん
坂本 敏さん、松尾 慶一さん
中川 知之さん、岡村 一郎さん
河原忠徳さんの卓話に期待して。

井上 齊爾さん、古賀 巖さん
佐保 榮さん、田中丸善弥さん
有蘭 良太さん

結婚記念日のお祝いありがとうございます。

高瀬 宏滋さん

出席100%表彰、ありがとうございました。

ニコニコボックス 本日合計 30,000 円
累 計 337,000 円

卓 話

『伊勢の神宮』

会員 河原 忠徳さん

(亀山八幡宮 禰宜)



伊勢の神宮では、10月2日と5日に内宮と外宮の遷御の儀が斎行され、新宮へ御神体が御遷りになりました。

私は、10月2日の内宮・遷御の儀に奉拝をして参りました。静寂で暗闇のなか風で揺れる木々の音だけが聞こえました。遷御の祭典が進む中、いよいよ遷御を迎えたとき、不思議と風も吹かなくなりました。無音の中、雅楽の響きにより天照大御神様が御遷りになりました。これが「鎮守の森」そして「日本のこころ」と感じたときであります。

「式年」とは、決められた年限を言います。伊勢の神宮の式年は20年です。

「遷宮」とは、神のお住まいの宮を遷すことです。したがって、神宮の式年遷宮では20年に一度、新宮を造営し神様がお使いになる調度や神宝も新調して、新宮にお遷りいただきます。この祭典を「式年遷宮」と言います。

神宮の社殿は、唯一神明造といい高床式の穀倉が原型となっています。建物としては素朴な建築と言えます。建物の原型を考えますと、天照大御神様から頂いた稲穂から収穫した米や種粃を収納しておく穀倉で

あることは、国の形を示す象徴的な意味を持っているのです。

礎石を用いない堀立柱や萱葺の御正殿は耐用年数が限られています。だからこそ、いつも清々しく神様に御鎮まり頂くために、20年に一度の造替が必要なのです。これまで頑なに同じことを繰り返し現代に至りました。千三百年前の建築や調度品、神宝など、先人が見ていた物を現代人も見ることが出来る。素晴らしいことであると思います。

神宮には「常若・とこわか」という精神が生き続けています。20年ごとにすべての御社殿を造り替え、御神宝、御装束から調度品に至るまですべて新しく調べ、常に原初の瑞々しい姿のまま「永遠」を目指す。その常若の精神によって天照大御神様の生命力を甦らせ御神威の発揚を高める式年遷宮は、私達日本人が天照大御神様の生命力を頂く、日本の国土や国民の生命力をも再生する「生命の蘇り」の祭りでもあるのです。

* 11月 例会予定 *

- 11月6日 ブリヂストンスポーツアリーナ(株) ゴルフ事業本部 部長代理 北島 幸治 様
- 11月13日 地区米山奨学生 イ・ヌエ・ソウ 様 (ミャンマー出身・長崎国際大学生)
- 11月20日 佐世保観光大使 田崎 愛子 様、福蘭 由貴菜 様
- 11月27日 新会員 NTT西日本一九州佐世保支店長 岡村 一郎さん

(今週の担当 城島 一彦)
(カメラ担当 佐藤 淳)

クラブ会報・広報委員会

委員長 長富 正博
副委員長 目黒 誠之

委員 大久保利博・白田 浩一
城島 一彦・佐藤 淳